

# 漱石のなぞ 目次

Ⅰ 『道草』と『漱石の思い出』との間	007
一 漱石の肖像	008
二 『道草』創作の動機	018
三 銀杏返しにたけながの女	027
四 漱石と鏡子と子規	034
五 子規の病い	044
六 妻の言い分	057
Ⅱ 漱石の〈神経衰弱〉	075
一 〈神経衰弱〉的症候	076
二 分裂病的精神世界	084

III 漱石の夢……………093

- 一 なぜ「薙露行」は書かれたか……………094
- 二 「夢十夜」……………106
- 三 夢のからくり……………123

IV 『草枕』……………135

- 一 オフィリアコンプレックス……………136
- 二 那美という女……………142
- 三 非人情という念仏……………149

V 『三四郎』の位相……………159

- 一 旧約の二句をめぐって……………160
- 二 蓑与次郎三四郎……………164
- 三 私生児の問題……………178
- 四 美祢子という女……………183
- 五 『三四郎』のおとちやめ……………193

VI 『キキョウ』のエートス……………201

- 一 〈同性愛小説〉としての『キキョウ』……………202
- 二 〈厄招き〉としての先生……………208
- 三 怪談物の伝統……………210
- 四 Kという男……………220
- 五 『キキョウ』と『銀の匙』の周辺……………224

VII 漱石雑感——ちとがきに代えて……………235

- 1 『坊っちゃん』……………236
- 2 『キキョウ』補遺……………238
- 3 漱石と同時代の作家たち……………240
- 4 漱石とフランス世紀末文学……………241
- 5 漱石と鷗外……………244
- 6 陸軍軍医総監森林太郎……………245
- 7 いままたなぜ漱石論を……………248